

報告第5号

株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

株式会社夢街人とうじょうの経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和8年6月1日提出

加東市長 岩 根 正

# 経営状況報告書

株式会社

夢街人とうじょう

## 目 次

第27期 事業報告	1～11
参考資料1	
令和7年度道の駅とうじょうオリジナル商品等の売上状況	12～13
広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況	14
道の駅とうじょう利用状況	15
道の駅とうじょう売上状況	16
決算報告書	17～24
貸借対照表	18～19
損益計算書	20
販売費及び一般管理費	21
株主資本等変動計算書	22
個別注記表	23
監査報告	24
比較決算報告書	25～30
第27期部門別損益計算書	31
営業契約書（抜粋）	32～35
部門別人件費資料	36
第28期 事業計画	37～40
収支計画	41

# 第 2 7 期 事 業 報 告

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

## 1 事業概要

令和 7 年度の国内経済は雇用・所得の改善や継続的な賃上げを背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られたほか、インバウンド需要の回復や大阪・関西万博開催による観光需要拡大への期待を受け、地域経済においても緩やかな回復基調で推移しました。一方で、夏の記録的猛暑の影響により、農産物の生育不良や収穫量の減少などが発生し、全国的な米価格の上昇や農産物需給への関心が高まりました。いわゆる「令和の米騒動」と称される米不足・価格高騰に関する報道を背景に、消費者の食の安全や国産農産物への意識が高まり、農産物直売所の役割が改めて注目される一年になりました。また、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、物流費や人件費の上昇、人手不足の深刻化、金融政策正常化に伴う金利動向や物価上昇の継続など、企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

世界経済におきましては、地政学的リスクの長期化や資源価格の変動に加え、第二次トランプ政権発足による米国経済政策や通商政策の動向が国際市場に影響を与えるなど、不安定な状況が続きました。さらに、イラン情勢をはじめとする中東地域の緊張激化により、原油価格や物流コスト上昇の懸念が高まり、世界経済の先行き不透明感が一層強まる状況となりました。こうした国際情勢の変化は、国内におけるエネルギー価格や物価動向にも影響を及ぼしており、企業においては一層慎重な経営対応が求められる状況となっております。

さらに、国内政治においては高市内閣が発足し、物価高対策や地方経済の活性化、安全保障政策の強化などが重点政策として掲げられました。発足以降、政府によるエネルギー価格政策や地域創生支援策への期待が高まる一方、物価高騰への対応や実質賃金の改善など、国民生活を取り巻く課題への的確な対応が求められる状況が続いております。

このような状況の中、道の駅とうじょうにおきましては、第一四半期の直営 3 部門の売上合計は前期比 99.7% となり、道の駅全体の売上も 5 月を除き前期実績を上回りました。第二四半期は例年より早い梅雨明けにより利用者が増加し、直営 3 部門の売上合計は前期比 105.0%、飲食部門 2 店舗の売上は前期比 110.3% と大きく伸ばいたしました。その結果、上期の道の駅全体の売上は前期比 103.3%、客数は前期比 97.8% となりました。第三四半期はバスの立ち寄り台数が前期より増加したことにより、売上は直営 3 部門合計および「駅ラーメン華」の売上が前期実

績を上回りました。一方、第四四半期は2月上旬までの寒波の影響により、直営3部門の客数が伸び悩み、売上は前期比101.0%、客数は前期比98.0%に留まりました。その一方で、飲食部門2店舗については、売上が前期比106.4%、客数は前期比105%と伸長いたしました。

令和7年度通期での道の駅とうじょう全体の売上は前期比102.9%、客数は前期比97.9%となりましたが、当期は夜間の駐車場警備を中心とした一般管理費の増額により、経常利益は274万の損失となりました。

(1) 事業実績

日 時	事 業 内 容
令和7年4月19日(土) ～4月30日(水)	道の駅とうじょう25周年キャンペーン実施 25周年特別記念きっぷ販売 スタンプカードポイント2倍
令和7年6月23日(月)	令和7年度第1回兵庫県道の駅駅長会出席
令和7年7月26日(土)	山田錦日和出店
令和7年7月27日(日)	農産物直売所 すいか即売会
令和7年8月23日(土)	農産物直売所 ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼち ゃコンテスト開催
令和7年9月25日(木)	令和7年度第2回兵庫道の駅駅長会出席
令和7年10月19日(日)	5駅連携ツナガルみちの駅イベント 道の駅神戸フルーツフラワーパーク大沢出店
令和7年10月26日(日)	5駅連携ツナガルみちの駅イベント 道の駅みき出店
令和7年11月1日(土)	第13回全国「道の駅」シンポジウム in 丹波 道の駅まつり出店
令和7年11月16日(日)	はりちゅうの日出店
令和7年12月7日(日)	5駅連携ツナガルみちの駅イベント 道の駅よかわ出店
令和7年12月14日(日)	道の駅とうじょう『感謝祭』開催
令和7年12月18日(木)	令和7年度第3回兵庫道の駅駅長会出席
令和8年2月22日(日) ～23日(月・祝)	5駅連携ツナガルみちの駅 道の駅とうじょう『冬にあったかワクワク広場』開催 5駅をめぐるバスツアー催行(2日間) 22日(日) 23日(月・祝)

(2) 重点事項等への取組実績

重点事項等	取組実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>当道の駅施設が利用者にとって有効に機能するように創意工夫に努め、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣住民による大型車の騒音クレーム対策として、夜間の駐車場内の見回り、ドライバーへアイドリング防止の呼びかけを警備会社へ依頼。加えて、加東市のご協力により、第二駐車場の普通車区画に車止めやポール、アイドリング防止啓蒙の看板を設置。マナーに反する大型車の駐車が徐々に減少し、騒音調査の数値を改善することができた。</li> <li>営業時間中の駐車場内の管理として、土日祝及び繁忙期には警備員を配置して駐車場内の安全な誘導を行い、混雑による事故防止に留意した。また、二輪車の駐車枠を正面玄関前から第二駐車場側へ移設し、利用者および納入業者の動線分離を図ることで安全対策を強化した。</li> <li>施設の維持管理として、特定建築物調査や消防設備の点検を定期的実施している。その結果、非常用照明や排煙装置の経年劣化が確認されたため、該当箇所の修繕を行い、施設内を安全に利用できる環境の確保に努めた。</li> <li>トイレ及び情報コーナーの清掃については常に良好な衛生環境及び美観を維持することを目的として、日常的に巡回点検を実施するとともに、清掃スタッフと情報共有を図りつつ、課題の把握および改善措置の実行に努めた。また、情報コーナーにおける快適性の確保および利用マナーの向上を図るため、利用者に対し適切な行動を促す啓発用POPを掲示した。併せて、情報発信機能の充実を目的として、市外利用者向けには加東市内および北播磨地域の周遊促進</li> </ul>

- ・施設の設置目的である地場産品の展示販売、消費拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

を意図したイベント情報のパンフレットを配置し、地元利用者向けには市内イベント、祭礼、生活情報を中心とした情報提供に取り組んだ。

- ・4月よりホームページの全面的な刷新を行うとともに、道の駅とうじょうのGoogleマップの検索結果が上位に表示されるよう、検索エンジン最適化に係る対策を講じた。その結果、ホームページの閲覧数が増加し、特産館、直売所、飲食部門における客数増加に繋がった。
- ・前期に引き続き、県内の道の駅を巡るスタンプラリーを実施、さらにSNSを活用した情報発信においては、加東市内のイベントや季節ごとの観光情報を入手のうえ発信し、利用者が市内イベントと道の駅の双方へ誘引されるよう配慮した投稿を行った。
- ・加東市内及び近隣地域のイベントに出店した際には、主催者及び出店者との間で観光情報並びに特産品に関する情報収集と共有を行った。これらの取り組みを通じて、新規取引先の開拓と商品開発への展開を図った。

(3) 部門別の取組実績

部門	対前年比		取組実績
	売上	入込客数	
<p>特産館 「夢街人」</p>	<p>・対前年 103.9%</p> <p>・対前々年 103.1%</p>	<p>・対前年 106.3%</p> <p>・対前々年 102.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産館部門の新規仕入先の開拓 新規仕入業者 20社 売上金額 2,000千円</li> <li>・ソフトクリームの販売強化 2年前まで販売していた黒豆ソフトの製造終了に伴い、前期はお子様好評のフレーバーでソフトクリームを販売していたが、当期より季節に応じて、加東市で収穫される果物のフレーバーで販売。SNSの投稿と連携したことで、ソフトクリームの売上が前期比128.5%と伸長した。</li> <li>・自家需要商品の充実を図るため、兵庫県道の駅長会で得た情報を基に、季節や地域イベントに応じた商品を計画的に仕入れた。その結果、客数及び売上ともに伸長し、営業利益は前期比106.5%と増収を達成した。</li> </ul>
<p>農産物直売所 「コスモスの館」</p>	<p>・対前年 107.5%</p> <p>・対前々年 108.0%</p>	<p>・対前年 100.8%</p> <p>・対前々年 95.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期においては桃の生育状況が良好で入荷量が増加し、併せて出荷を支える配送車の手配も滞りなく実施された。その結果、販売機会を逃すことなく約1,000万円の売上上積みを確認した。さらに、苺、ぶどうの生育が順調であったことから、道の駅とうじょうの主要販売品目である桃・いちご・ぶどうの3品において入荷量が増加し、コスモス会全体の売上増加に大きく貢献した。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期の直売所の売上構成比はコスモス会が76.8%、仕入部門が23.2%で10年前と比較して大きく改善している。これにより、道の駅として地域振興機能及び集客力の向上に一定の成果を示しているものと考えられる。今後は直売所全体の売上向上を図るとともに、収益性の一層の改善に向けて利益率の向上を目指していく。</li> </ul>
<p>コンビニエンスストア 「ファミリーマート」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前年 98.5%</li> <li>・対前々年 99.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対前年 94.0%</li> <li>・対前々年 93.6%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期においては物価高の影響により利用者の節約志向が強まり、買い控えの傾向が見られた。このため、売上及び客数はいずれも前期実績には達しなかった。一方で、原価率の低い商品の販売強化を図ったことにより、売上総利益は前期比99.9%まで回復することができた。しかしながら、一般管理費については、最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加に加え、売上減少による本部フィーの支払い区分が変更となったことで費用が増額し、経常利益は前期比86.4%に留まることとなった。</li> <li>・当期は原価の高騰及び価格上昇により利用者の購買意欲が減退し、買い上げ点数が伸び悩んだ。その結果、廃棄率は前期より0.73%上昇することとなった。そのような状況下においても、前期の売上データを基にした需要予測に加え、周辺地域のイベント時期の集客動向を踏まえた発注管理を行</li> </ul>

			<p>ったことで、前期より欠品のない売場運営を実現した。その結果、繁忙月における売上は前期実績を上回る水準となった。</p> <p>廃棄額</p> <p>令和7年度 9,746千円</p> <p>令和6年度 8,068千円</p> <p>廃棄率</p> <p>令和7年度 3.96%</p> <p>令和6年度 3.23%</p>
<p>レストラン 「獅子銀」</p>	<p>・対前年 102.4%</p> <p>・対前々年 86.0%</p>	<p>・対前年 101.4%</p> <p>・対前々年 84.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期のホームページ刷新により飲食部門の閲覧数が増加、加えてSNSでの日替わりランチ情報の継続的な発信が来店動機の向上に繋がった。これらの施策により、平日の客数が増加し、売上は前期実績を上回った。</li> <li>・当期は季節限定メニューを4回展開し、春の「あさりうどん」と夏の「うな重」「夏野菜カレー」が高い評価を得たことで、既存顧客の来店頻度が上昇した。加えて、本社ホームページで団体向けメニューを掲載した結果、バスツアーの予約が増加し、客数の動きが弱い時期の売上維持に貢献した。</li> </ul>
<p>駅ラーメン 「華」</p>	<p>・対前年 112.5%</p> <p>・対前々年 124.0%</p>	<p>・対前年 104.6%</p> <p>・対前々年 111.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定客確保の取り組みとして継続しているポイントカード満点時の特典を割引または景品に選択できる方式へ変更した。その結果、ポイント利用の満足度が向上し、満点カードの回収枚数が増加すると共に、固定客の増加に繋がった。</li> <li>・アルバイト人員の確保に向けて、勤務シフトの柔軟化や仕事内容の</li> </ul>

			<p>明確化を進めたことで、新規スタッフの離職が減少し、繁忙期の人員体制が安定した結果、売上が増加した。</p>
<p>アロマリラクゼーションサロン 「もみの木HOUSE」</p>	<p>・対前年 94.9%</p> <p>・対前々年 96.5%</p>	<p>・対前年 91.2%</p> <p>・対前々年 96.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存顧客の来店頻度向上を目的として、アロマオイル活用法をLINEで配信すると共に、定期的にオンラインでアロマ講座を開催した。その結果、来店時におけるアロマ関連商品の購入や新規顧客の紹介に繋げることができた。</li> <li>・お客様の大半が既存顧客のため、施術前のカウンセリングに十分な時間を確保し、個々のニーズに応じた施術を実施した。加えて、施術終了時のカウンセリングにも時間を設け、可能な範囲で次回予約の提案をすることで、顧客との信頼関係の構築に努めた。</li> </ul>
<p>トータルボディメンテナンス 「at rest アットレスト」</p>	<p>・対前年 96.2%</p> <p>・対前々年 75.6%</p>	<p>・対前年 93.2%</p> <p>・対前々年 78.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期はメニューの見直しを行い、単品メニューをおまかせコースに統合したことで予約時の案内が円滑になった。その上で来店時には簡易カウンセリングを実施し、顧客の状態に合わせた施術を提供した結果、長時間コースを選択する顧客が増加し、客単価の向上に繋がった。</li> <li>・以前から好評であるフェイクグリーンアレンジメントを軸に季節ごとに香り・BGM・照明器具を変更し、リラクセスできる空間作りを強化した。その結果、関連商品の購買意欲が高まり、売上補完に貢献した。</li> </ul>

(参考) 「道の駅 とうじょう」の周辺環境数値

項 目	R 7 年度	R 6 年度	比較増減
ひょうご東条 I C 出入交通量	1,579,917 台	1,576,955 台	2,692 台増
同一日当たり平均	4,329 台	4,320 台	9 台増
南山地区人口	2,275 人	2,233 人	42 人増
おもちゃ王国入場者数	344,020 人	347,390 人	3,370 人減
清水寺参拝者数	57,049 人	62,407 人	5,358 人減
インターパーク企業数	3 2 社	3 1 社	1 社増
ゴルフ場利用者数	831,913 人	816,411 人	15,502 人増

2. 会社の概況 (令和 8 年 3 月 3 1 日現在)

(1) 発行済み株式の総数 5 5 0 株

(2) 株主と出資状況

株 主	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
加 東 市	2 7 5	5 0 . 0 %
みのり農業協同組合	1 7 5	3 1 . 8 %
加東市商工会	4 0	7 . 3 %
兵庫県釣針協同組合	2 0	3 . 6 %
コスモス会	2 0	3 . 6 %
株式会社夢街人とうじょう	2 0	3 . 6 %

※小数点以下を四捨五入しているため、持株比率の合計は 100% になりません。

取締役および監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
監 査 役	
監 査 役	

従業員の状況

雇用区分	氏 名
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	

パートアルバイト社員

部 署	人 数
事務所（事務）	1人
特産館（販売）	6人
コスモスの館（販売）	6人
コンビニ	26人

## 令和7年度 道の駅とうじょう オリジナル商品等の売上状況



## 広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況





決算報告書

第 27 期

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山一丁目5番地3

# 貸借対照表

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

## 資 産 の 部

I 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	94,193,170		
売 掛 金	211,233		
売掛金クレジット	6,562,042		
商 品	11,125,206		
販売委託商品	176,999		
貯 蔵 品	75,190		
F C 貸 付 金	△12,920		
立 替 金	672,825		
未 収 入 金	330,146		
消 費 税 預 け 金	18,547		
預 け 金	8,126		
仮 払 金	4,326		
貸 倒 引 当 金	△71,034		
流動資産合計			113,293,856
II 固 定 資 産			
1 有 形 固 定 資 産			
建 物	19,502,361		
建物附属設備	3,885,411		
機 械 装 置	196,610		
車 両 運 搬 具	1		
什 器 備 品	1,131,962		
一 括 償 却 資 産	529,534		
有形固定資産合計		25,245,879	
2 無 形 固 定 資 産			
繰 延 資 産	9,418,120		
ソ フ ト ウ ェ ア	522,000		
無形固定資産合計		9,940,120	
3 投 資 そ の 他 の 資 産			
出 資 金	8,600		
保 証 金	20,000		
投資その他の資産合計		28,600	
固定資産合計			35,214,599
資 産 合 計			148,508,455

負債の部

I 流動負債

買掛金	18,354,883
未払金	8,111,884
預り金	1,237,000
従業員預り金	1,077,086
源泉預り金	26,636
住民預り金	360,400
未払法人税等	185,000

流動負債合計

29,352,889

II 固定負債

預り保証金	7,490,000
-------	-----------

固定負債合計

7,490,000

負債合計

36,842,889

純資産の部

I 株主資本

1 資本金	30,000,000	30,000,000
-------	------------	------------

2 利益剰余金

(1) 利益準備金	5,060,000
-----------	-----------

(2) その他利益剰余金

別途積立金	5,000,000
-------	-----------

繰越利益剰余金	71,605,566
---------	------------

うち当期純損失	(2,738,089)
---------	-------------

利益剰余金合計

81,665,566

株主資本合計

111,665,566

純資産合計

111,665,566

負債・純資産合計

148,508,455

# 損 益 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

I 純	売 上 高		
	商 品 売 上 高	32,683,269	
	獅 子 銀 売 上 高	4,800,000	
	コソヒニ売 上 高	245,856,914	
	駅 ラ ー メ ン 華	1,920,000	
	も み の 木 売 上	720,000	
	受 取 手 数 料 特 産 館	17,578,322	
	ア ッ ト レ ス ト	720,000	
	公 衆 電 話 自 販 機 売 上	1,576,659	
	営 業 収 入	6,682,783	
	管 理 委 託 収 入	5,940,000	
	直 売 所 売 上	26,944,925	
	受 取 手 数 料 直 売 所	21,985,983	367,408,855
II 売	上 原 価		
	期 首 棚 卸 高	7,358,487	
	商 品 仕 入 高	43,837,602	
	コソヒニ仕 入	179,837,029	
	商 品 廃 棄 損	△9,594,542	
	管 理 委 託 費	5,957,585	
	合 計	227,396,161	
	期 末 棚 卸 高	11,125,206	216,270,955
	売 上 総 利 益		151,137,900
III 販	売 費 及 び 一 般 管 理 費		
	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	157,563,069	157,563,069
	営 業 損 失		6,425,169
IV 営	業 外 収 益		
	受 取 利 息	135,992	
	貸 倒 引 当 金 戻 入	58,310	
	雑 収 入	4,203,127	4,397,429
V 営	業 外 費 用		
	雑 損 失	16,649	16,649
	経 常 損 失		2,044,389
	税 引 前 当 期 純 損 失		2,044,389
	法 人 税 等 充 当 額		693,700
	当 期 純 損 失		2,738,089

## 販売費及び一般管理費

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

役員報酬		379,000	
給料手当		45,970,938	
賞与		6,088,610	
退職金		744,381	
法定福利費		9,295,771	
福利厚生費		1,910,897	
パートアルバイト給与		18,431,121	
広告宣伝費		5,332,807	
運賃		223,943	
容器包装費		830,901	
リース料		354,646	
本部ファイ		19,814,042	
水道光熱費		6,769,429	
車両関連費		198,496	
事務用消耗品費		186,335	
消耗品費		2,393,030	
支払保険料		402,730	
修繕費		2,625,685	
租税公課		318,598	
減価償却費		5,192,834	
接待交際費		188,921	
旅費交通費		1,378,311	
通信費		488,908	
支払手数料		3,139,889	
会議費		116,982	
諸会費		198,640	
貸倒引当金繰入		71,034	
保守管理費		7,868,723	
不良品廃棄		9,495,717	
家賃		1,200,000	
雑費		5,951,750	
合	計	157,563,069	157,563,069
		157,563,069	157,563,069

# 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

## 株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	74,343,655
	当期変動額	2,738,089
	当期末残高	71,605,566
利益剰余金合計	当期首残高	84,403,655
	当期変動額	△2,738,089
	当期末残高	81,665,566
株主資本合計	当期首残高	114,403,655
	当期変動額	△2,738,089
	当期末残高	111,665,566
純資産合計	当期首残高	114,403,655
	当期変動額	△2,738,089
	当期末残高	111,665,566

# 個 別 注 記 表

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - (1) 資産の評価基準及び評価方法
    - ① たな卸資産の評価基準及び評価方法  
商品・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法
    - (2) 固定資産の減価償却の方法
      - ① 有形固定資産  
定率法  
(平成10年4月1日以降に取得した建物・平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法)
      - ② 無形固定資産  
定額法
      - ③ 繰延資産  
定額法
    - (3) 収益及び費用の計上基準  
収益・・・・・・・・実現主義  
費用・・・・・・・・発生主義
    - (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項  
消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
  - (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項  
発行済株式  
普通株式（発行済株式）

当期末株式数（発行済普通株式）	550株
上記のうち自己株式の数	20株
4. その他の注記

## 監 査 報 告

私監査役は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第27期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 8年5月19日

監 査 役

監 査 役

## 報 告 書

前記の通りご報告申し上げます。

令和 8年5月19日

株式会社夢街人とうじょう

代表取締役

比較決算報告書

第 27 期

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山一丁目5番地3

## 比較貸借対照表

令和 8年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
<b>【流 動 資 産】</b>	<b>【 113,293,856】</b>	<b>【 111,028,696】</b>	<b>【 2,265,160】</b>	<b>【 102.0】</b>
現金・預金	94,193,170	92,912,162	1,281,008	101.3
売掛金	211,233	432,644	△221,411	48.8
売掛金クレジット	6,562,042	5,711,480	850,562	114.8
商 品	11,125,206	7,358,487	3,766,719	151.1
販売委託商品	176,999	220,488	△43,489	80.2
貯 蔵 品	75,190	236,978	△161,788	31.7
F C 貸付金	△12,920	3,341,303	△3,354,223	
立 替 金	672,825	273,146	399,679	246.3
未 収 入 金	330,146	232,990	97,156	141.6
消費税預け金	18,547	284,876	△266,329	6.5
預 け 金	8,126	8,126	0	100.0
仮 払 金	4,326	4,326	0	100.0
引 出 金		70,000	△70,000	
貸倒引当金	△71,034	△58,310	△12,724	121.8
<b>【固 定 資 産】</b>	<b>【 35,214,599】</b>	<b>【 39,856,633】</b>	<b>【 △4,642,034】</b>	<b>【 88.3】</b>
[有形固定資産]	[ 25,245,879]	[ 28,982,783]	[ △3,736,904]	[ 87.1]
建 物	19,502,361	21,407,902	△1,905,541	91.0
建物附属設備	3,885,411	4,397,873	△512,462	88.3
機 械 装 置	196,610	294,914	△98,304	66.6
車 両 運 搬 具	1	1	0	100.0
什 器 備 品	1,131,962	2,557,426	△1,425,464	44.2
一括償却資産	529,534	324,667	204,867	163.1
[無形固定資産]	[ 9,940,120]	[ 10,845,250]	[ △905,130]	[ 91.6]
繰 延 資 産	9,418,120	10,107,250	△689,130	93.1
ソフトウェア	522,000	738,000	△216,000	70.7
[投資その他の資産]	[ 28,600]	[ 28,600]	[ 0]	[ 100.0]
出 資 金	8,600	8,600	0	100.0
保 証 金	20,000	20,000	0	100.0
資 産 合 計	148,508,455	150,885,329	△2,376,874	98.4

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
【流 動 負 債】	【 29,352,889】	【 28,331,674】	【 1,021,215】	【 103.6】
買 掛 金	18,354,883	17,796,131	558,752	103.1
未 払 金	8,111,884	8,764,906	△653,022	92.5
預 り 金	1,237,000	1,091,500	145,500	113.3
従 業 員 預 り 金	1,077,086		1,077,086	
源 泉 預 り 金	26,636	139,837	△113,201	19.0
住 民 預 り 金	360,400	320,000	40,400	112.6
未 払 法 人 税 等	185,000	219,300	△34,300	84.3
【固 定 負 債】	【 7,490,000】	【 7,490,000】	【 0】	【 100.0】
預 り 保 証 金	7,490,000	7,490,000	0	100.0
負 債 合 計	36,842,889	35,821,674	1,021,215	102.8
【株 主 資 本】	【 111,665,566】	【 115,063,655】	【 △3,398,089】	【 97.0】
資 本 金	30,000,000	30,000,000	0	100.0
[利 益 剰 余 金]	[ 81,665,566]	[ 85,063,655]	[ △3,398,089]	[ 96.0]
利 益 準 備 金	5,060,000	5,060,000	0	100.0
(その他利益剰余金)	( 76,605,566)	( 80,003,655)	( △3,398,089)	( 95.7)
別 途 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	100.0
繰 越 利 益 剰 余 金	71,605,566	75,003,655	△3,398,089	95.4
(うち当期純利益(損失))	( △2,738,089)	( 3,649,756)	( △6,387,845)	
純 資 産 合 計	111,665,566	115,063,655	△3,398,089	97.0
負 債 ・ 純 資 産 合 計	148,508,455	150,885,329	△2,376,874	98.4

## 比較損益計算書

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【純 売 上 高】	【 367,408,855】	【 364,895,519】	【 2,513,336】	【 100.6】
商品売上高	32,683,269	28,489,662	4,193,607	114.7
獅子銀売上高	4,800,000	4,800,000	0	100.0
コンビニ売上高	245,856,914	249,695,163	△3,838,249	98.4
駅ラーメン華	1,920,000	1,920,000	0	100.0
もみの木売上	720,000	720,000	0	100.0
受取手数料特産館	17,578,322	17,310,371	267,951	101.5
アットレスト	720,000	720,000	0	100.0
公衆電話自販機売上	1,576,659	1,424,116	152,543	110.7
営 業 収 入	6,682,783	6,699,146	△16,363	99.7
管 理 委 託 収 入	5,940,000	5,060,000	880,000	117.3
直 売 所 売 上	26,944,925	27,770,788	△825,863	97.0
受取手数料直売所	21,985,983	20,286,273	1,699,710	108.3
【売 上 原 価】	【 216,270,955】	【 216,251,276】	【 19,679】	【 100.0】
期首棚卸高	7,358,487	7,721,944	△363,457	95.2
商品仕入高	43,837,602	39,490,487	4,347,115	111.0
コンビニ仕入	179,837,029	180,207,416	△370,387	99.7
商品廃棄損	△9,594,542	△8,898,211	△696,331	107.8
管 理 委 託 費	5,957,585	5,088,127	869,458	117.0
期末棚卸高	11,125,206	7,358,487	3,766,719	151.1
売 上 総 利 益	151,137,900	148,644,243	2,493,657	101.6
【販売費及び一般管理費】	【 157,563,069】	【 146,637,879】	【 10,925,190】	【 107.4】
営業利益（損失）	△6,425,169	2,006,364	△8,431,533	
【営業外収益】	【 4,397,429】	【 2,683,625】	【 1,713,804】	【 163.8】
受 取 利 息	135,992	77,823	58,169	174.7
貸倒引当金戻入	58,310	22,514	35,796	258.9
雑 収 入	4,203,127	2,583,288	1,619,839	162.7
【営業外費用】	【 16,649】	【 21,409】	【 △4,760】	【 77.7】
雑 損 失	16,649	21,409	△4,760	77.7
經常利益（損失）	△2,044,389	4,668,580	△6,712,969	
【特別損失】		【 1】	【 △1】	
固定資産除却損		1	△1	
税引前当期純利益（損失）	△2,044,389	4,668,579	△6,712,968	
法人税等充当額	693,700	1,018,823	△325,123	68.0
当期純利益（損失）	△2,738,089	3,649,756	△6,387,845	

## 比較販売費及び一般管理費

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
役 員 報 酬	379,000	336,000	43,000	112.7
給 料 手 当	45,970,938	44,784,432	1,186,506	102.6
賞 与	6,088,610	6,367,500	△278,890	95.6
退 職 金	744,381		744,381	
法 定 福 利 費	9,295,771	8,870,630	425,141	104.7
福 利 厚 生 費	1,910,897	2,529,808	△618,911	75.5
ハートアルハイト給与	18,431,121	17,566,719	864,402	104.9
広 告 宣 伝 費	5,332,807	4,194,880	1,137,927	127.1
運 賃	223,943	270,055	△46,112	82.9
容 器 包 装 費	830,901	867,092	△36,191	95.8
リ ー ス 料	354,646	390,130	△35,484	90.9
本 部 フ ィ ー	19,814,042	18,938,748	875,294	104.6
水 道 光 熱 費	6,769,429	6,918,449	△149,020	97.8
車 両 関 連 費	198,496	139,380	59,116	142.4
事 務 用 消 耗 品 費	186,335	164,103	22,232	113.5
消 耗 品 費	2,393,030	2,328,837	64,193	102.7
支 払 保 険 料	402,730	405,760	△3,030	99.2
修 繕 費	2,625,685	2,110,894	514,791	124.3
租 税 公 課	318,598	226,600	91,998	140.5
減 価 償 却 費	5,192,834	4,793,870	398,964	108.3
接 待 交 際 費	188,921	68,382	120,539	276.2
旅 費 交 通 費	1,378,311	1,255,578	122,733	109.7
通 信 費	488,908	487,864	1,044	100.2
支 払 手 数 料	3,139,889	2,805,069	334,820	111.9
会 議 費	116,982	94,374	22,608	123.9
諸 会 費	198,640	193,360	5,280	102.7
寄 付 金		705,000	△705,000	
貸 倒 引 当 金 繰 入	71,034	58,310	12,724	121.8
保 守 管 理 費	7,868,723	3,822,087	4,046,636	205.8
不 良 品 廃 棄	9,495,717	8,806,429	689,288	107.8
家 賃	1,200,000	1,200,000	0	100.0
雑 費	5,951,750	4,937,539	1,014,211	120.5
合 計	157,563,069	146,637,879	10,925,190	107.4

# 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 7年 4月 1日  
至 令和 8年 3月31日

(単位：円)

株主資本		当 期	前 期
資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000	30,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000	5,060,000
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	74,343,655	71,353,899
	当期変動額	△2,738,089	3,649,756
	当期末残高	71,605,566	75,003,655
利益剰余金合計	当期首残高	84,403,655	81,413,899
	当期変動額	△2,738,089	3,649,756
	当期末残高	81,665,566	85,063,655
株主資本合計	当期首残高	114,403,655	111,413,899
	当期変動額	△2,738,089	3,649,756
	当期末残高	111,665,566	115,063,655
純資産合計	当期首残高	114,403,655	111,413,899
	当期変動額	△2,738,089	3,649,756
	当期末残高	111,665,566	115,063,655

第 2 7 期部門別損益計算書

## 営業契約書（抜粋）







○部門別人件費資料（令和8年3月31日現在）

# 第28期 事業計画

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月 31日

## 1. 重点事項等

- (1) 当道の駅施設が利用者にとって有効に機能する様に創意工夫に努め、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。
- (2) 施設の設置目的である地場産品の展示販売による消費の拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

## 2. 今年度基本方針

- (1) 道の駅連絡会との連携を強化する。  
兵庫県道の駅長会、全国道の駅連絡会のネットワークを通して他の道の駅との連携を強化していく。その上で、新商品の開発や施設維持管理に関する情報等を共有し、安全で楽しい道の駅の運営に活かす。
- (2) SNSで旬の農産物や新商品、地元の情報を紹介して加東市・北播磨地区の特産品や地域性をアピールし、来店を促すよう働きかける。
- (3) 年に一度、利用者の多い3月に施設状況や商品構成、接客等に関してアンケートを実施し、利用者の満足度を把握し健全な運営に活かす。
- (4) 従業員がお互いに協力し合い、道の駅の従業員として誇りを持って職務を遂行できるよう職場環境を整え、秩序の保持に努める。

### <特産館・夢街人>

#### ①地域産品の訴求

山田錦を使用した酒類・菓子類の販売の強化を図る。

#### ②自家需要商品の充実

米粉使用商品をはじめ、季節やイベントを意識した菓子類・食品を増やしてお土産以外の自家需要商品の売上向上に努める。

#### ③兵庫県下を中心に全国の有名産地の名産品の品揃えの充実

五つ星ひょうご認定商品、北播地区特産品、兵庫県下特産品に関連した商品を増やす。(もち麦・桃・いちご)

#### ④営業日及び季節による営業時間の変更

毎月第二月曜日を定休日とする。(年末年始を含む)

人件費、営業効率面を考慮し、閉店時間を変更するなどの対応をとる。

4月～6月、9月・10月・・・平日は午後6時30分

土日祝日は午後7時

7月・8月・・・全日午後7時

11月・12月・・・全日午後6時30分

1月・2月・・・全日午後6時

<農産物直売所・コスモスの館> ※営業日、営業時間は特産館と同じ

- ①野菜の売上増加を目指すべく、春の筍、秋の黒枝豆、冬の東条ネギの3品目を中心に再強化を図る。また、生産者向けに勉強会を実施して、品質向上に努めていく。
- ②新規農産物生産者の登録を引き続き行い、商品の品質改善とボリューム増加を図る。
- ③特産館と同様、営業日及び季節による営業時間の変更を実施する。

<コンビニ・ファミリーマート>

- ①収益率の向上と廃棄率抑制に努める。
  - ・ゴールデンウィーク・お盆・周辺観光施設のイベント時の繁忙期、秋の行楽シーズンなど等来店客層に合わせた品揃えを行う。
  - ・売り逃しのないよう、カウンターフーズ、中食（おにぎり、弁当、サンドイッチ類）の発注数量を天気予報で予測し、売上と納品数量のバランスを取って廃棄率4%以下を継続して目指す。
- ②SNSを利用してスタッフとのコミュニケーションの円滑化を図り、個々の能力を伸ばせるように工夫し、最盛期に向けて準備を整える。
- ③ファミリーマート本部の取り組み。
  - ・ファミペイの更なる利用者拡大を目標とし、お得な情報の配信やメーカータイアップキャンペーンを実施して、自店の固定客の増加に努める。
  - ・食品ロスの削減の取り組みとして「ファミマフードドライブ」を実施し、加東市社会福祉協議会を通して、地域の食支援に取り組む。
  - ・賞味期限の迫った商品の値引き販売など、物価高の対応やSDGSの取り組みなど消費者の思考変化に対応した店舗運営を行っていく。

<レストラン・獅子銀>

- ①ランチタイムの更なる固定客の増加を目指すべく、SNSで日替わりランチメニューやおかわり自由などの情報配信を行い、集客を図る。
- ②GW、お盆や年始の繁忙期には通常メニューを減らして特別メニュー（お客様の目を引く料理）を展開して回転率を上げ、同時に単品メニューを増やして、客単価アップを狙う。来店連頻度を上げられるよう、下記にはかき氷やうな重、冬季にはカキフライなど期間限定メニューを展開する。
- ③本社所在地である丹波篠山産の食材使用を店内POPやSNSでPRして、団体客の誘致を狙っていく。

<駅ラーメン・華(はな)>

- ①毎年、学生アルバイトの退職があるため、退職者・入社者どちらもメリットがある紹介制度を設けて人材確保に努める。加えて平日に長期勤務できる方の募集について、当店独自の勤務条件を提示して、採用に繋げる。
- ②お客様へのサービス向上を目指すべく、スタッフ教育の強化として『挨拶・正確・迅速・笑顔・気配り』など基本的な接客について、スタッフによるバラつきがなく実行できるよう、曜日・時間を決めて定期的に研修教育を行う。

- ③厨房業務の一部をスタッフと共有し、混雑時にも安定して料理が提供できるよう工夫する。無駄な動きやロスを減らして回転率を上げられるよう、引き続き厨房機器の定期点検及び店舗の清掃に注意する。

<アロマリラクゼーションサロン・もみの木HOUSE>

- ①来店客の9割が既存顧客のため、お一人お一人の体の状態を管理して記録し、顧客に合わせた施術を提供して、客単価を上げられるよう工夫する。新規顧客の開拓として、引き続き既存顧客の紹介特典を実施する。
- ②季節の変わり目に体調を崩される顧客が多いため、その場合はカウンセリングの時間を多めに取り、効果的な施術ができるように工夫する。さらに自宅でできるアロママッサージを紹介して、商品売上に繋げる。

<トータルボディメンテナンス・at rest>

- ①新規顧客の開拓として、予約状況をSNSで随時発信、当日の空き時間案内のPOPをドアに掲示して新規の来店を促し、できるだけ空き時間が出ないように工夫する。
- ②顧客満足度を上げられるよう、季節ごとにオイル、スプレーを変更し、来店頻度を高められるよう、回数券の導入を検討する。
- ③店内インテリア雑貨が好評のため、引き続き加東市内のイベントに委託販売として出品し、新規の来店に繋げていく。

<情報・休憩コーナー>

- ①北播磨地域を中心に正確でタイムリーな情報を効率よく提供出来るように工夫する。ポスター・チラシの優先順位を明確化し、常に整理整頓に努める。
- ②地元加東市の求人情報コーナーの設置（継続）
- ③土日祝日の利用者が多いため、大声での会話を避け短時間での利用、アルコール飲料の禁止、充電禁止、火気厳禁の啓発POPを配置し、安心して利用していただけるよう、設備の維持管理に努める。

3. 施設管理の計画

施設名	営業時間	定休日
特産館 (夢街人)	<p>■ 4月～6月・9月・10月・3月 平日 午前9時～午後6時30分 土日祝 午前9時～午後7時</p> <p>■ 11月・12月 全日 午前9時～午後6時30分</p> <p>※ 1月・2月は前日午後6時閉店 7月・8月は前日午後7時閉店</p>	毎月第2月曜日 年末年始
農産物直売所 (コスモスの館)	「特産館」に準じる	「特産館」に準じる

コンビニ (ファミリーマート)	24時間	無休
レストラン (獅子銀)	午前11時～午後8時 (ラストオーダー 午後7時30分)	毎週月曜日 年末年始
レストラン (駅ラーメン 華)	午前11時～午後3時30分 午後 5時30分～午後8時 (ラストオーダー 午後7時30分) ※毎週火曜・水曜 午後休	毎週木曜日 年末年始
アロマリラクゼーション (もみの木HOUSE)	午前10時～午後6時 (最終受付 午後4時)	毎週月曜日 年末年始
トータルボディメンテナンス (a t r e s t)	午後12時～午後9時 (最終受付 午後8時)	毎週火曜日 年末年始
情報・休憩室	24時間開放	無休
トイレ	24時間使用可	無休

#### ■勤務時間

- 特産館 : 午前8時45分～午後6時45分  
(土日祝、7月、8月の午後7時閉店時は午後7時15分迄、  
1、2月の午後6時閉店時は午後6時15分まで勤務。)
- 直売所 : 特産館に準じる。
- コンビニ : 午前6時00分～翌午前6時00分

#### ■勤務体制

特産館 (総務を含む)

社員 (駅長、経理担当社員)、パート従業員のシフト表による1ヶ月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。

直売所

社員 (部長)、パート従業員のシフト表による1ヶ月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。

コンビニ

社員 (店長含む)、パート従業員のシフト表による1ヶ月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。(※深夜勤務有り)

## 第28期収支計画

収入の部

支出の部

総合計					(単位:千円)				
項目	R8計画	R7実績	差額	前期比	項目	R8計画	R7実績	差額	前期比
売上	325,800	315,222	10,578	103.4%	売上原価	221,120	216,271	4,849	102.2%
受取手数料	41,500	39,564	1,936	104.9%	人件費	87,200	82,821	4,379	105.3%
管理委託収入	6,320	5,940	380	106.4%	水光熱費	7,160	6,770	390	105.8%
営業収入	6,800	6,683	117	101.8%	一般管理費	67,700	67,971	-271	99.6%
指定管理料 (電気代補助)	3,000	870	2,130	344.8%	営業外費用	25	16	9	156.3%
営業外収入 (催事)	1,100	2,644	-1,544	41.6%					
営業外収入	830	883	-53	94.0%					
合計	385,350	371,806	13,544	103.6%	合計	383,205	373,849	9,356	102.5%
					収支差額	2,145	-2,043	4,188	-105.0%

※収支差額：経常利益(税引前当期純利益) ※法人税等算入せず。